

主催： 応用物理学会 日本光学会 微小光学研究グループ
第114回微小光学研究会

創エネ・省エネと微小光学

微小光学は地球を救えるか



日時： 2009年11月27日(金) 10:20~16:50
会場： 大阪大学(吹田キャンパス) 银杏会館
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1
<http://www.osaka-u.ac.jp/jp/about/map/index.html>

交通： 伊丹空港から
モノレールで約25分(阪大病院前) 徒歩6分
千里中央駅から
バスで約15分(阪大本部前) 徒歩3分
モノレール約10分(阪大病院前) 徒歩6分
JR茨木駅から
バスで約25分(阪大本部前) 徒歩3分



共催：大阪大学光科学センター

協賛：レーザー学会

プログラム

- 10:20~10:30 開会の挨拶
- 10:30~11:10 【特別講演】「レーザー核融合 - 動力炉へ向けて - 」 中井貞雄(光産業創成大学院大学)
- 11:10~11:40 「太陽光励起高出力固体レーザーとその応用」 佐伯 拓(レーザー総研)
- 11:40~12:10 「マイクロ波が開く新エネルギー技術 - ユビキタス電源から宇宙太陽発電まで - 」
篠原真毅(京都大)
- 12:10~13:20 <昼食休憩>
- 13:20~13:50 「太陽光集光型熱発電システム」 森 伸芳(エナリアクト)、玉浦 裕(東工大)
- 13:50~14:20 「電力用薄膜太陽電池の現状と今後の開発動向」 太和田善久(カネカ)
- 14:20~14:50 「高効率レーザー光源を用いたレーザープロジェクション」 笹川智広(三菱電機)
- 14:50~15:10 <休憩 20分>
- 15:10~15:40 「植物工場における人工光源の実際」 中村謙治(エスペックミック)
- 15:40~16:10 「有機EL照明」 菰田卓哉(パナソニック電工)
- 16:10~16:40 「オンサイト型燃料電池での光触媒による水素生成」 市橋祐一(神戸大)
- 16:40~16:50 閉会の挨拶

参加費： 一般 4,000 円、学生 1,000 円 (資料代含む、当日ご持参ください)

参加申込： 不要 (直接会場にお越しください)

担当委員： 土屋(三洋)、魚津(三菱レイヨン)、山本(大阪大)、橘高(日本板硝子)、藤(シャープ)

問合せ先： 三洋電機株式会社 電子デバイスカンパニー 事業開発センター 土屋洋一

Tel: 0584-64-4843 Fax: 0584-64-4006 E-mail: tsuchiya@gf.hm.rd.sanyo.co.jp

微小光学研究グループ： 代表：伊賀健一、運営委員長：後藤顕也、運営副委員長：黒田和男

実行委員長：中島啓幾、副委員長：波多腰玄一

プログラムは、微小光学研究グループのホームページ <http://www.comemoc.com/> でもご覧になれます。